

てんり市議会だより

今回の定例会

まほるば



2017年3月1日号 No.79 12月定例会の内容をお伝えします。

※題字については、第58回天理市展において議会議長賞を受賞された西田理恵さんにお書きいただきました。



2016年11月27日、市役所において、平成28年度議会報告会を開催しました。

詳細については、次ページの特集をご覧ください。

多数のご参加をいただき、誠にありがとうございました。

CONTENTS

| | |
|---------------|----|
| TOPIX ~特集~ | 2 |
| こんなことを話し合いました | 3 |
| こんなことを質問しました | 10 |
| こんなことが決まりました | 13 |
| こんな議論を行っています | 15 |

第8回議会報告会を開催しました



平成28年11月27日（日）午後2時から、全議員参加のもと、市役所533会議室で議会報告会を開催いたしましたところ、40人のご参加をいただき、ありがとうございました。

参加者から「天理のまちづくり」について意見や質問が出され、活発な意見交換が行われました。報告会でいただきました主なご意見やご質問を報告します。

内容

- (1) 一年間の議決報告について
- (2) 常任委員会ごとの意見交換テーマ
 - 文教厚生委員会：子どもたちに対して学力向上へのよりよい環境づくり
 - 経済産業委員会：新クリーンセンターについて
 - 総務財政委員会：安全・安心の街づくり
- (3) その他

主なご意見やご質問

文教厚生委員会

- 学校の教室にエアコンを設置してほしい。
- 子どもたちに地域の歴史や地域の誇れることを学んでほしい。
- 天理市の学校における「いじめ」の現状を聞きたい。
- 道徳の教科化が始まる。道徳の教科書を図書館で展示してほしい。
- 新櫛本公民館のエレベータ設置が取り止めになった経過を知りたい。

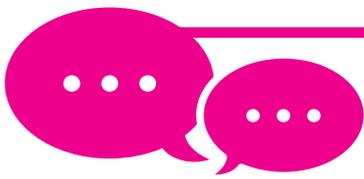
経済産業委員会

- 新クリーンセンター建設について、なぜ10市町村で広域化するのか、地元説明会をもっと開いて、説明してほしい。また、問題が起こった時に対処できる体制をつくってほしい。

総務財政委員会

- 横断歩道の線が消えかけている箇所がある。
- 自主防災組織に市から補助金等の援助が出来ないか。
- 自助に当たって個人の備蓄物数量など具体的な詳細を「町から町へ」に掲載してほしい。
- 災害時要援護者について、自治会に入会していない方の把握が困難です。行政で対応を考えてほしい。
- 天理駅前広場が避難場所になっているが、避難所の明示をしてほしい。また、トイレの案内掲示も必要です。

みなさんからいただいた、ご意見やご質問等は、今後の議会活動に活かしていきます。



平成28年12月定例会

こんなことを話し合いました

開会日(12月8日)
市長提案

●会期の決定

会期を12月26日までの19日間と決定しました。

●監査報告

監査委員より3件の監査報告がありました。

●報告

報告1件が上程され、原案どおり了承しました。

●提案説明

今議会に提出された18議案について、市長より提案説明が行われました。



再開日(12月12日)
委員会付託

●委員長の交代報告

文教厚生委員長の今西議員より、委員長の辞任願が提出されたことに伴い、委員会を開催し、互選した結果、堀田議員が委員長に就任しました。

●委員会付託

上程された議案のうち1議案について、荻原議員から議案質疑があり、その後18議案を各常任委員会に付託し、審査することとしました。

●文教厚生委員会

・国民健康保険特別会計補正予算

●経済産業委員会

ほか 計4議案を付託

●総務財政委員会

・一般会計補正予算
ほか 計9議案を付託

再開日(12月19・20日)
代表質問・一般質問

●代表質問

清風会
・飯田 和男 議員
創生
・今西 康世 議員

●一般質問

・仲西 敏 議員
・荻原 文明 議員
・鳥山 淳一 議員
・寺井 正則 議員

※10～13Pに要旨を掲載しています。



最終日(12月22日)
採決

●委員長報告

所管常任委員会に付託されていた18議案について、各委員長より、審査の経過並びに結果の報告がありました。

●採決

18議案について、いずれも原案どおり可決しました。

●意見書

意見書2件について、それぞれ提案者の説明があり、うち1件について荻原議員からの反対討論の後、それぞれ原案どおり可決しました。(14P内容掲載)

※議決結果については、13Pに掲載しています。

文教厚生委員会

12月13日

付託議案の審査概要

平成28年度国民健康保険特別会計補正予算

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1億825万3千円を追加。

○歳出の主な内容

- ・療養給付費、高額療養費の増額
- ・高額医療費共同事業拠出金の確定に伴う増額
- ・平成27年度療養給付費負担金等の確定による精算返納金

○歳入の主な内容

- ・療養給付費負担金の増額
- ・一般会計繰入金の増額

子育て世代すこやか支援センター条例の制定について

地域子育て支援の中核施設として、保健センターの一階に「子育て世代すこやか支援センター」を開設し、これを拠点として妊娠、出産及び子育てに係る一貫した支援を行うため、条例を制定しようとするもの。

意見・要望事項

- ・本センターにおいて、子育て世代の方々に対し、できるだけ細やかなサービスを行うことを要望。

市体育施設及び有料公園施設の指定管理者の指定について

天理市体育施設及び有料公園施設の管理について、株式会社 エスエスケイ 代表取締役 佐々木 恭一氏を平成29年4月1日から平成34年3月31日までの5年間、指定管理者に指定するため、地方自治法第24条の2第6項の規定により、議会の議決を求めるもの。

意見・要望事項

- ・今後とも指定管理者の選定については、わかりやすく、整合性のとれた方法で行うよう要望。



詳細は

天理市のホームページ

天理市議会

会議録の検索と閲覧

よりご覧ください

権利の放棄及び和解について

御経野地区環境改善事業の早期終結を図るため、同事業に係る遅延損害金の一部について、権利を放棄するとともに、これに伴う和解をしようとするため、地方自治法第96条第1項第10号及び第12号の規定により議会の議決を求めるもの。



議会を傍聴しませんか？

本会議、各常任委員会及び議会運営委員会が傍聴できます。
市政への知識を深めることや議会の活動、市の方針などを知ることができますので、傍聴を希望される方は、本会議や委員会当日、本庁舎6階事務局までお越しください。
また、団体での傍聴を希望される方は座席の都合上、事前に事務局へお問合わせください。
なお、本会議のライブ中継及び録画中継は天理市のホームページからご覧いただけますのでご利用ください。

●問い合わせ 議会事務局

63-1001 内線603

その他の質問事項

議案以外に、市民の方に身近な事柄についても、質問を行っています。その主な内容をお伝えします。

●内田副委員長

Q 各小中学校の敷地内にある木々について、校舎側から校庭を見ると死角になっている箇所が見受けられるが何か対策をしてもらえないか。

A 次年度に向けて各校に灌木の調査依頼をかけており、その調査を見た上で、死角の大きい大木を優先的に伐採して、防犯上の遺漏がないよう計画していきたい。

(教育総務課長)

Q 昨年の夏ごろに丹波市幼稚園、小学校の草刈りをボランティアの方々が行ってくれたと聞いたが、今後も子どもたちの安全対策の一環として、教育委員会だけで学校の維持管理を行うのではなく、そのような方々の協力を得てはどうか。

A 真夏の大変暑い中、樹木の伐採や幼稚園の芝刈りをしていただき大変感謝している。今後とも、子どもたちの安全確保のために地域やボランティアの方々との協力を得ながら

安全対策を講じてまいりたい。

(教育総務課長)

●加藤委員

要望 今年もノロウイルスやインフルエンザが流行する季節がやってきた。12月の初めに私の家族3人がノロにかかり大騒動だった。当然、担当課として予防については、保育所、幼稚園、小学校などで指導されていると思うが、市民の皆様にも「予防」することの大切さを、今まで以上に伝達、指導されることを強く要望しておく。

●今西委員

Q 12月10日文化センターでスマホサミットがあり、市の小・中・高校生と天大生5人が「子ども達が考えるケータイ・スマホの取組」をテーマにトークセッションとパネルディスカッションを開催。しっかりした内容と意見に感心した。このときのアンケート調査の結果内容について教えてほしい。また、今後も続けられるのか。

A 6月より取り組んだ事業で子どもたちが主体的に行い、いきいき感があり、期待が持てる。アンケートの集約はまだまだ、「大変良かった」が

ほとんどであった。

(教育総合センター所長)

Q 全国学力・学習状況調査結果で天理市の子どもの成績が年々落ちてきているし、奈良県の中で最下位であるという現状を見て、原因はなんなのか、またなぜこんなレベルに落ちてしまったのか、分析されているのか。今後どう取り組んでいくのか。

A 平成19年から10年の経過を見て、勉強時間が少なくなつたと分析。スマホ等メディアに使う時間が増えた。好循環に変えるために生活習慣を変えて学習習慣を良いものにしていく。早寝・早起き・朝ごはんが基本。今後は放課後等を利用して勉強の機会を持つよう考える。(教育長)

要望 国語の部分が弱いと思う。読解力が基本なので、力を入れてほしい。秋田が全国最低からトップになった。先生も家庭も子どもたちも共通の意識を高めているところが大きなポイント。先生はプロ。子どもたちが心身に健全に育ち、学力も向上するよう期待している。

●荻原委員
Q 就学援助制度について、

入学準備金を実態に合わせて増額をしていく必要がある。また、現在、入学準備金支給時期は7月頃であるが、これを2月か3月頃に支給する必要がある。

A 支給時期について、文部科学省通知で、「年度の当初から開始し、各費目について児童・生徒が援助を必要とする時期に速やかに支給することができるよう、特に新入生児童・生徒学用品等に十分配慮すること」と示されている。他市町村の取組の動向を注視し、金額も適当なのかどうか等、教育委員会として検証したい。(学校教育課長)

Q 教育委員会で直接、就学援助金申請の受付は行っているのか。

A 一応学校を通してということになっているが、教育委員会の窓口を持ってきて受け付けている。(学校教育課長)

Q 教育キャンプ場の運用事業者との交渉が停滞しているが、今後の方針はどうか。

A 青葉仁(あおはに)は購入の意思がないと判断し、いろいろな団体との交渉を始めているところである。(生涯学習課長)

Q もともと公民館は政治教育に取り組むことになっている。政党や政治団体に公民館を政治教育の一環として貸し館事業を行っていくことについて、考えをお尋ねする。

A 公民館の中でも政治教育はしていくべきものと考えているが、社会教育法第23条の禁止項目で、特定の政党の利害に関する事業、選挙に関して特定の候補者の支持と考えられることは禁止されている。他市の利用例もあるが、この部分については現在禁止している。ただ、一般的な政治勉強で禁止項目に当たらない場合は、申請者が議員が政党にかかわらず使用は可能と考えている。(生涯学習課長)

Q 65歳から、障害福祉サービスから介護保険サービスに移行することになっている。そのため低所得者の利用料が重い負担となっている。障害福祉サービスの継続が必要。

A 介護保険サービスの利用者負担を障害福祉制度により軽減する仕組みが平成30年4月1日より改正される。補助については国の基準が明確になった上で改めて検討したい。(社会福祉課長)

経済産業委員会

12月14日

付託議案の審査概要

平成28年度水道事業会計
補正予算

総有収水量の減に伴う水道料金収入の減少等により、収益的収入及び支出において、収入で9827万2千円を減額し、総額を22億7528万2千円とし、支出で5716万9千円を減額し、総額を21億3927万4千円とするもの。
また、資本的収入及び支出において、収入で、他会計補助金を119万8千円増額し、総額を4億9677万3千円にしようとするもの。

平成28年度下水道事業会計
補正予算

総排水量の減に伴う下水道使用料収入の減少により、収益的収入及び支出において、収入で6031万2千円を減額し、総額を29億1868万5千円とするものであり、支出で、流域下水道維持管理負担金等を2215万6千円減額し、総額を25億3123万4千円にしようとするもの。



農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例の制定について

農業委員会等に関する法律の改正に伴い、同法に規定する農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定めるため、条例を制定するもの。



市道路線の認定について

道路法第8条第2項の規定に基づき、1路線の認定をするため、議会の議決を求めるもの。

意見・要望事項

・本道路線について、自転車・歩行者が安全に通行できるように要望。



奈良広域水質検査センター組合を組織する市町村数の増加及び奈良広域水質検査センター組合規約の変更について

西和衛生試験センター組合の解散に伴い、奈良広域水質検査センター組合に、平群町、三郷町、斑鳩町、安堵町、上牧町、王寺町及び河合町を加入させ、同組合の規約を変更することについて、同法第290条の規定により、議会の議決を求めるもの。



詳細は

[天理市のホームページ](#)

[天理市議会](#)

[会議録の検索と閲覧](#)

よりご覧ください



その他の質問事項

議案以外に、市民の方に身近な事柄についても、質問を行っています。その主な内容をお伝えします。

●榎堀委員長

要望 11月15日に委員会でクリーンセンターに視察を行ったが、ごみの収集等についての問題点や、自治会に加入していない世帯への対応、違反ごみ、資源リサイクルごみ等々、いろいろな形で意見交換をさせていただいた。新クリーンセンターが平成35年より稼働する予定であるが、それまでに問題解決に努力していただくよう要望する。

Q 議会報告会を開催し、市民の方から、クリーンセンターについての意見をいただいた。地元に対してさまざまな角度から説明をつくしていただきたい。

A 樺本校区において、市民対象の大きな説明会を1回は開催している。地元から説明会のご依頼があれば、いつでも説明に行かせていただきたいと思います。

(山辺・県北西部広域環境衛生組合事務局長)

●東田副委員長

Q 30年前、バブルのころ、市内のいろんな所で宅地開発されて、自治会ができたと思う。その中で、市道認定されている道路もあると思うが、いま現在、自治会の中の私道は市内にどのくらいあるのか。
A 市の管理となっていない道路については、把握はできていない。(監理課長)

Q 各自治会の道路は、年数も経ち、舗装等かなり傷んでいる箇所があると思う。また、町内で直す財源がないということで、市道認定、また市管理道路にさせていただいて、市の財源で舗装工事をしていただきたいと思うが。

A 自治会長等からご相談があった場合は、副委員長がおっしゃったような形になるよう、できるだけ相談はさせていただこうと考えている。(監理課長)

要望 自治会長または地域からの相談があったときは、できるだけ対応していただくように要望しておく。

●廣井委員

Q 天理市の促成栽培のイチゴ、トマト等のハウス栽培は県下でも特産物として有名で、

ビニール、マルチング等利用度が高く、今までそのビニール等廃棄処理に、市は一部補助金を出してきたが、29年度より予算補助制度がなくなるそうだが、なぜか。
A 平成13年よりJAのビニール廃棄業務に補助を出していたが、見直し施策で廃止案が平成21年に決定された。しかし、JA、農家等の要望で、補助額を下げ継続されたが、平成25年の再見直しで、3年間の猶予をもって廃止となった。不法投棄や野焼きの環境問題も利用者の自覚で心配なのであることの判断。(農林課長)

Q 今後近郊農業として伸ばすには、集約農業経営が必要で、ビニール等の利用と廃棄収集は今後も絶対必要であり、公害環境問題が悪化しないよう、財政難の折、厳しいかもしれないが、一部負担の継続をお願いしたい。

A 天理市にとって促成栽培を後押ししていくということで、農業支援はもちろん大事な問題であり、廃棄ビニール処理事業補助は廃止として、今後促成栽培に対して、どのように支援できるか議論していきたい。(副市長)

●中西一喜委員

Q 横断歩道と点字ブロックの設置の過程について、教えていただきたい。
A 横断歩道については警察で、点字ブロックについては市で発注している。(建設部長)

要望 多々ありますが、駅から天理教本部へ向かう中での横断歩道がほとんど消えている。また点字ブロックの上にもあり、ぜひ行政側から警察に強い要望を出してくださるようお願いする。

●仲西敏委員

Q 市道1号線、前栽小学校北側の浸水対策の進捗具合は。
A 7月13日に前栽小学校前で大きな浸水があった。調査結果では排水量が不足しており、来年度予算に予算要望し、対応する。(建設部長)

Q 市庁舎西側、川原城交差点の歩道橋で、文化センター駐車場側の階段が歩道部分を占有して通行の妨げとなっている。安全面についてお聞きしたい。

A 川原城交差点、25号線に歩道橋の東側の文化センター側へおろる階段下歩道が、80

センチの歩道幅で大変狭く、横断歩道もあり歩行者と自転車混在し、かなり危険な状況。平成24年度頃に奈良土木事務所が狭い歩道を解消すべく業務委託し検討した。歩道橋の階段を文化センター駐車場に移設する改善計画を奈良土木と協議したが、歩道橋自体が必要なのが根本的な議論も出て協議が中断した。今回、県は協議を再開したいということである。(建設部長)

Q 危険な歩道橋の撤去も含め安全対策に取り組んでほしい。
A 早急に取り組んでいく。(建設部長)

Q IOT技術を観光振興に活用できないか。
A IOTを観光促進に生かすことは極めて重要。本市も「ナビ天理 in ポケット」アプリを作成し、地図情報や旧所名跡、ハイキングコースや店情報も載せている。4月以降に駅前、トレイルセンターも変わっていく中で、今後、検討しながら進めていく。(環境経済部次長)

総務財政委員会

12月15日

付託議案の審査概要

平成28年度一般会計補正予算

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ9億6829万2千円を追加。

○歳出の主な内容

- ・地方創生推進交付金事業として、国際芸術家村関係で、芸術家の活動拠点となる空家等の実態を把握するための空家調査業務委託料及び国際芸術家村周辺において周遊観光を図るための駐車場用地鑑定手数料等
- ・国の十分の十の補助を受けて実施する臨時福祉給付金にかかる経費や、地域人材の掘り起し・育成・活用戦略策定を行う「地域の人事部」戦略策定事業にかかる経費
- ・6次産業立地推進業務として、地権者の意向調査と基本構想を見直すための委託料

・田井庄池公園多目的広場及びウォーキングコースの整備にかかる経費

・西中学校の消火栓用ポンプの経年劣化に伴う改修に係る経費

・市立幼稚園8園の保育室30室にエアコンを整備するための経費

○歳入の主な内容

・国庫支出金、県支出金、基金繰入金、繰越金

意見・要望事項

・臨時福祉給付金については、対象者への手続きに遺漏がないようにとの意見。
・西中学校の消火栓用ポンプの改修については、市内の各小中学校の設備についても万全を期すようにとの意見。

自転車等駐車場条例の一部改正について

便性を図るため、現在、自転車駐車場が運用している90分間無料で合わせ、自転車等駐車場の駐車料金に無料時間を導入するため、所要の改正をしようとするもの。



自転車等駐車場、天理市観光物産センター及び天理駅前広場の指定管理者の指定について

天理市自転車等駐車場、天理市観光物産センター及び天理駅前広場について、指定管理者の指定を行うにあたり、地方自治法第24条の2第6項の規定により、議会の議決を求めようとするもの。



財産の無償貸付けについて

東部山間地域の携帯電話の不感地域解消に向けた取組として設置した財産、移動通信用鉄塔施設等を民間通信事業者に引き続き、無償貸付けするため、地方自治法第96条第1項第6号の規定により、議会の議決を求めようとするもの。



詳細は
[天理市のホームページ](#)
▼
[天理市議会](#)
▼
[会議録の検索と閲覧](#)
よりご覧ください



その他の質問事項

議案以外に、市民の方に身近な事柄についても、質問を行っています。その主な内容をお伝えします。

●市本委員長

Q 議会報告会（総務財政委員会のテーマ：安心・安全のまちづくり）で、市民から出た意見・要望について答弁をお願いします。

①横断歩道の線が消えかけている箇所がある。

②地域の自主防災組合を編成しているが、市から助成金等の援助ができないか。

③自助に当たって個人の備蓄物数量など具体的な詳細を広報「町から町へ」に掲載してほしい。

④災害時要援護者について、自治会に入会していない方の把握が本当に困難である。行政で対応を考えてほしい。

⑤天理駅前広場が避難場所になっているが、避難所の明示をしてほしい。また、トイレの案内掲示も必要である。

A ①横断歩道の塗り直し等については警察の所管となっており、天理警察署の方に連絡をさせていただいている現

状で、今後も粘り強く要望を上げさせていただきます。

（地域安全課長）

②コミュニティ助成事業という補助金を活用して、自主防災組織の資機材、備品等の整備に係る補助を行っており、今後とも積極的に同事業の活用をしてみたい。

（総務部長）

③最新の天理市総合防災マップを更新し作成。「町から町へ」3月号に折り込み、併せて、天理市地震ハザードマップも更新し、全戸配布の予定。その中に、個人の備蓄物の具体的な明示、チェックリストも掲載し備えとして役立てていただきたい。

（総務部長）

④自治会に入会していない、把握の困難な方について、消防署、民生委員の方などに避難行動要支援者情報を提供する予定。

（総務部長）

⑤天理駅前広場は広域の緊急避難所ということで指定している。看板サイン等を製作し、市民の皆様にはわかりやすく明示できるように努めていきたい。トイレの案内表示の件についても、避難時に必要な大

置する予定。

（総務部長）

●三橋副委員長

Q 災害発生時に人の立ち入れないようなところに、現場上空から調査できる高性能カメラを搭載した小型無人機「ドローン」がある。自然災害以外でも、情報収集や行方不明者の捜索や森林火災、不法投棄のパトロールなど種々の活用が期待されているが、導入についての考えは。

A 本市においてはまだ考えていないが、今後調査研究していきたい。

（防災課長）

●寺井委員

Q 内閣府が公表している「避難所における良好な生活環境の確保に向けた取組指針」には、避難所関係職員以外の者でも避難所を立ち上げることができるよう手引（マニュアル）の整備が必要である」となっている。早急に避難所運営マニュアルの作成にとりかかるべきではないか。

A 避難所の立ち上げの際の手引については、施設ごとの避難所班マニュアルを整備している。しかし、現状に即していない部分もあるため、内閣府作成の避難所ガイドライ

ンなどを参考にし、よりわかりやすい手引の整備に向けて検討していきたい。

（防災課長）

Q 「避難所運営ガイドライン」には「避難所生活は住民が主体となって行うべきもの」となっているが、災害発生時の避難所運営の流れはどのようになっているか。とりわけ、初期避難者の中から代表者を選び、避難所の運営組織を作ることになっているが、どうなっているか。

A 「避難所運営ガイドライン」には、発生する前、平常時、そして発災直後、そしてまた、1週間後のように、時間的な経過でマニュアルを作るような例が載っており、本市も参考に作っていきたくと考えている。

（防災課長）

Q この避難所運営マニュアルに基づく、避難所設営の訓練の実施をするということも提案されているが。

A 最近では、避難所誘導訓練、避難所運営訓練などを盛り込んで、住民参加型の訓練を実施している。避難所生活に係るルールづくりや役割分担等の決定をするなど、いろいろな避難所で行うことの体験をしていただいた。（防災課長）

●鳥山委員

Q 国の特例法による本市空家対策協議会の設立と空き家対策について。

A 空家対策プロジェクトチームを5月に発足し、空家の調査やデータベース化等による情報共有、特定空家の判定方法や、空家の活用に関し協議を行うこととしている。

（総合政策課長）

Q 天理駅前広場の団体待合室の整備と活用等について。

A 駅の待合や来訪者の休憩施設として活用を考えている。キッズコーナー、小中高校生のスタディスペースを配置予定。子育てや文化活動に関するイベント等にも活用したい。

（総合政策課長）

要望 高齢者の団体や子育て世代の意見も聴取し、有効的な活用に向けて出発して欲しい。

要望 光の祭典は冬の風物詩として、県内でも有名である。子どもたちも家族で来ている。次年度の検討に駅西側の開発も含めて、西側で定着して開催できるように願います。



市民のみなさんの暮らしをより良いものにするため、市に対して質問を行いました。

その主な内容をお伝えします。(10 ~ 13P)

こんなことを質問しました

※すべての質問が動画で視聴及び会議録で閲覧できます。 [天理市のホームページ](#) ▶ [天理市議会](#) ▶ [議会中継](#) (動画) ・ [会議録の検索と閲覧](#)

代表質問

清風会

飯田 和男 議員

- ・新ごみ処理施設と駅構内の待合室借用について
- ・県の国際芸術家村について
- ・スポーツの街 天理について
- ・旧樺本公民館跡地利用について
- ・市長の進退について

創生

今西 康世 議員

- ・奈良県国際芸術家村について
- ・インクルーシブ教育について
- ・女性活躍促進について

一般質問

仲西 敏 議員

- ・教育の諸課題について
- ・安心安全のまちづくりについて
- ・まち・ひと・しごと創生総合戦略について
- ・荻原 文明 議員
- ・2017年度天理市予算編成について
- ・ファシリティマネジメントについて
- ・市職員の公務に関する能力向上について
- ・周遊観光について
- ・循環型社会形成について
- ・鳥山 淳一 議員
- ・子どもたちにとりよよい教育環境について
- ・子育て支援及び少子化対応について
- ・高齢者の活動支援について
- ・寺井 正則 議員
- ・市民の健康を守る施策について
- ・認知症対策について
- ・インターネットテレシール教育について



清風会 飯田 和男 議員 (一問一答)

新ごみ処理施設と駅構内の待合室借用について

Q 新ごみ処理施設借用計画の進捗状況は。

A 60年の一般定期借地権設定契約で契約事務等の最終確認を行っており、特段問題は発生していません。契約については年明けごろの予定です。契約方法は天理市が借り受け、山辺・県北西部広域環境衛生組合に転貸をする事になっていきます。(環境経済部長)

Q 天理駅南高架下借用契約の進捗状況は。

A 建物使用賃借契約については、既にJRとの間で締結しており、平成29年4月以降は、団体臨時列車が発着する期間を除く日について、天理市が借り受けて活用していきたいと考えています。(市長公室長)

Q 県の国際芸術家村について

Q 県と共に天理市は、地方創生にどう結びつけていくのか、またその財源は。

A 天理駅と芸術家村を結ぶエリアを芸術ゾーンとし、本通り商店街を含めて芸術通りと位置付け、ミュージックストリート・アートストリートを継続実施し、芸術フェスタやアート作品の連続展示などの取組により、にぎわいの創出を図ることを検討中です。財源として、地方創生推進交付金の交付が決定しました。(市長公室長)

スポーツの街 天理について

Q 国際基準に合った施設、人を呼び込める市の施設が必要と思っております。

A 現時点では、市単独の大規模施設を建設することは困難ですので、既存施設の活用とオリンピックキャンプ地誘致を含めたソフト事業の充実及び本市のスポーツコンテンツを活かし、柔軟かつ多角的に検討していきたいと考えています。(文化部長)

要望 市の現状については、承知しております。充実施設があつて初めて大きな試合が誘致できます。将来の市のスポーツ施設のインフラ整備を積極的に図ることを要望します。

Q 旧樺本公民館跡地利用について

Q 樺本幼稚園への送迎車がターンできる用地としての利用する考えは。

A 樺本幼稚園では、長時間預かり保育を実施しており、自家用車の送迎が多くなっているため、園とも協議し、旧公民館内を通路とし改善しました。(教委事務局長)

Q 旧樺本公民館の会議室を残し、展示場または高齢者サロンとしての利用を考えていただきたい。

A 旧公民館の耐震性の問題もありませんが、地元活性化に繋がるよう地元のご要望等伺いながら検討したいと考えております。(市長公室長)

市長の進退について

Q 来年度の市長選への出馬予定の有無は。

A 地域包括ケアの推進、子育て施策、天理駅前広場の整備や九条バイパスなどまちづくり、また広域連携でのごみ処理施設等、これらの施策を天理の発展とくらしの豊かさに繋げていくためにも、来年10月以降も働けるよう精進していきます。(市長)



創生 今西 康世 議員
(一括質問)

奈良県国際芸術家村について

Q 私は「世界に開かれた都市、理想環境都市 天理市」の中にある国際色豊かな国際芸術家村をイメージしている。まず天理駅前から本通り、そして国際芸術家村を結ぶ展開については、1番大切な天理本通りの川原城町、三島町の商店街の流れをどのように考えているのか。

A 天理駅前の空間と国際芸術家村の2つの文化芸術拠点を含んだエリアを芸術ゾーンに。天理本通りを芸術ストリートとして位置付け、ソフト事業を中心に進めていければと考えている。(市長)

Q ソフト面の内容については、継続して機能していく必要がある。具体的にどのように、またどのようなものを考えておられるのか。

A 周遊観光の拠点施設にしていく。文化芸術に接する機会の充実、交流人口の拡大、地元産業の振興等を考えている。

(市長)

Q 自治振興セミナーの受講時「ロケッツリズムでまちを売り出せ！」の話があり、自治体から申し込むと無料で取材をしてくれる。この機会に、天理市のPR方法の1つとして考えてほしい。川村元氣氏がプロデュースした「君の名は」は205億円の興行収入を上げ、「千と千尋の神隠し」に次いで成長。ドラマの主人公と自分を結びつけ、疑似体験できる

ところへどんどん人が集まる。「聖地巡礼」で吉野は盛り上がり、全国アニメ聖地サミットを開催。アニメファンは単に鑑賞するだけでなく、作品に深く入り、世界観をより詳細に感じ、時間やお金を惜しまない。継続的な中身のある観光客を引き付けるためにもロケッツリズムを真剣に考えてほしい。

A 日本のアニメは海外でも注目。効果的な情報発信をしていく。好循環の流れを目指していく。河瀬直美監督とも連携を強めていきたい。(市長)

インクルーシブ教育について

Q 全ての子どもが地域の学校において同年齢の子供とともに、ひとりひとりの個性、能力、多様性を尊重し、教育されることを基本とするインクルーシブ教育についてどう考えるか。

A ICT機器も使い、支援方法の研究や具体的取組を積極的に進めていく。(教育長)

女性活躍促進について

Q 女性は子育てや生殖により人類の生存に深く関わっているため、女性が抱くイメージには、歴史を貫通する力と柔軟性がある。国も成長戦略の1つと定め、指導的地位に占める女性の割合を30%と定めた。市の委員会、審議会等女性委員の参画0人の会が多くある。解決方法は。

A 「共に支え合う」街 天理を目指す中で、教育、子育てのみならず、福祉等においても女性の視点が大事。様々な分野で女性のみなさんが活躍したできるようにすこやか支援センター、男女共同参画センター等の活用を。(市長)

要諦 女性が動きやすく、いろいろなところで意見が言えるような、本来の女性が輝く社会の実現に向けて、一歩進んだ取組を重ねて願う。

教育の諸課題について



仲西 敏 議員
(一問一答)

Q 校園へのエアコン設置促進について、普通教室の室温を熱中症にならないレベルまで下げるため、エアコンの設置が必要。財政負担を軽減する民間資金のPFI方式等への見解をお尋ねします。

A エアコンについては、全幼稚園に来年度の夏までに設置します。小中学校の普通教室へは、国の財源措置や施工方式、維持費を勘案し検討します。(教育長)

Q スクールソーシャルワーカー(SSW)の学校配置について、生徒指導対応のため、教育分野や、社会福祉等の専門的な知識や経験を用い、児童生徒支援を行うSSWの配置が必要ですか。

A 学校へSSWを巡回派遣することにより児童生徒だけでなく保護者も支援し、子どもへの貧困対策でも効果があります。(教育長)

Q 放課後学習支援の取組について、地域の人的資源と教育力を活用し、学力向上に向けた放課後学習を実施するなど、公教育として支援の拡充が必要です。

A 来年度、放課後講習推進事業を考えています。教職員だけでなく、教員OBや学生、保護者や関係団体による学校の教育力向上に努めます。(教育長)

安心安全のまちづくりについて

Q 交通安全対策について、3月完成の名阪側道で通学路の横断歩道が2カ所、信号機が無いと交通弱者の道路横断は危険です。市道

「田樺本線」の小田中町の交差点は、死亡事故が発生し、信号機設置の強い要望があります。市道1号線と橋街道の交差点に東西方向も対応する信号機への改修と、歩道の確保が必要です。

A 名阪側道の信号機は、開通に伴う交通の流れを精査し警察に粘り強く要望します。市道「田樺本線」の小田中町交差点の信号機も、交通量の増加を踏まえ警察と協議を続けます。市道1号線と天理環状線の交差点では、東西方面の信号機は設置されていません。県道を通学路として横断し、車両も非常に多いと認識、信号機の改修時に交差点の改良を奈良県土木事務所、警察と協議を継続します。

まち・ひと・しごと創生総合戦略について

Q 取組の成果をお尋ねします。

A 4つの政策分野での特徴的な取組として、第1に、テレワークセンターで介護と妊娠期の離職防止の効果。2点目は、定住、移住促進でプランディング事業の拠点で天理駅前広場なども施策のアウトリーチの場として活用。3つ目は、子育て世代すこやか支援センターを開設。4つ目、地域包括ケアをメディアカルセンター中心に行っています。地域の発展と市民の暮らしの豊かさに努めます。(市長)

Q 創生推進交付金の事業内容の特徴は。

A 働き方改革による事業として、しごとセンター、テレワーク拠点、子育て世代すこやか支援センターの3つを連携。(市長)

Q 本当に必要なのは、市民が政策を正確に理解することです。市民の理解と協力を得、政策を進めることが大切です。

A 創生事業を市民が知り、活用し、活動に繋ぐことが今後の課題で、天理駅前広場を政策のアウトリーチの場に、フードバンクや子ども食堂など、敷居を感じさせず参加いただけるよう地域の活動を繋いでいくことがポイントです。(市長)



荻原 文明 議員
(一括質問)

2017年度予算編成方針について

Q 予算編成は、一人ひとりの住民の暮らしと福祉、教育、中小零細企業、地域経済を直接支援することを基本方針とする必要がある。

A 住民の暮らし等をしっかりとサポートしていく。厳しい状況だが将来にわたって持続可能な、必要な未来への投資もしっかりとやっていきたい。(市長)

ファシリティマネジメントについて

Q 企画、管理、活用という総合的視点にたった公共施設等総合管理計画を住民と共同して作成することが必要である。

A 公共施設等や財政状況に関する各種データをもとに、今後の公共施設等の更新時期や費用といった将来推計を試算し施設等の最適化、有効活用、維持管理の効率化の方針素案を作成しパブリックコメントで意見募集し、策定を完了したい。(市長公室長)

自己啓発等休業制度について

Q 自治体にとって人材育成は重要である。職員的能力向上のため自己啓発等休業制度の導入が必要である。

A 職員の負担を軽減させながら修学、国際貢献を希望する職員を支援してきた。今後必要があれば制度の検討をしたい。(市長)

(市長公室長)

周遊観光について

Q 天理市観光の基本は自然環境と歴史文化が一体となっていること。歩くことで周遊観光と商業農業とグリーンツーリズム、スポーツツーリズムで素通り観光から消費につながることで。宿泊型観光で質の高い観光をめざすべきではないか。

A 周遊観光と宿泊型観光を組み合わせたことはその通りである。新橋本公民館、天理駅前、トレイルセンターの拠点があるながる流れができる。ウォーキング、サイクリング、車の動線を配慮し、奈良市・桜井市・磯城郡・明日香村と連携しながら周遊ルートを作っていきたいと考えている。(市長)

循環型社会形成推進地域計画について

Q 循環型社会形成推進地域計画は、ごみの減量化目標を4.5%と設定しているが、生ごみ等の減量化は可能であり、本格的に検討を始める必要がある。小型家電回収ボックスを設置し、再資源化の取り組みを行うこと。ごみ減量化で焼却炉の規模縮小ができる家庭ごみ有料化はすべきではない。

A 水切り、食品ロスの削減、フードバンクによる生ごみ減量化も組み合わせたい。ごみの有料化は最終手段であり、まずは、持続可能なごみ処理体制をつくり、減量化やりサイクルを進めたい。当面は新ごみ処理施設建設に全力を傾注したいと考えている。また、小型家電の回収に向けた検討を行っていきたい。(市長)

よりよい教育環境について

Q 県内少人数学級実施状況は2市4町が実施している。市の未来を担う子どもたちを育てるため、学力向上やよりきめ細かな教育実践や活動、保護者支援に小、中学校の少人数学級対応が大切であるが、市の状況はどうか。

A 今年度、福住小中学校を除く各小中学校に、1から4名、計20名が加配、少人数学級編成を実施している。市内では30人以下の学級が84.8%を占め、36人以上の学級が小学校4学級、中学校9学級と全体に占める割合は少ない。(教育長)

Q 小学校2年生の35人学級実施で他の学年の少人数学級編成が活用できず、38名になる状況がある。36人以上の学級が小学校で3校、中学校で1校と同じ学校に集中している。日常の人的支援はどうか。

A よりきめ細やかな支援を行うために、市独自で、特別支援教育支援員とスクールサポートを昨年の倍の計44名配置している。(教育長)

要請 集中している学校に、少人数学級編成を単年度条件的加配として検討いただきたい。

少子化対策について

Q 少子化の中で昨年の全国出生率は1.45と改善されたが、県は大変低く1.27、本市は近々で1.32。地方創生の視点から市の少子化対策構想、子ども・子育て



鳥山 淳一 議員
(一問一答)

(市長公室長)

て支援の重点はどうか。
A 孤立化した子育て世代をつなげ、経済的、精神的、時間的な負担の軽減が重要。市創生総合戦略で、子どもが育つ環境づくりで出生率向上と現役子育て世代の定住促進を図る。施設型給付、預かり保育、子育て教室、ボランティア育成、ひとり親支援策などを組み合わせ実施したい。また、中学生までに医療費助成の対象を拡大している。3月保健センターの1階に子育て世代すこやか支援センターを開設し、妊娠、出産、子育てに至る切れ目のない支援を構築し、関係機関との一層の連携を強めていきたい。(市長)

高齢者の活動支援について

Q 地域包括を含めた高齢者の健康づくりや居場所づくりの市施設での現状について。

A 市立メディカルセンター2階に地域包括ケア広場を開放、健康づくりで天理駅前広場をつないでいく。公民館もクラブ、サークル等気軽に集い、学び、楽しめる場としている。各地でふれあいサロンも広がっている。駅前広場で開始時期に、メディカルセンターと連携し健康体操、健康ウィークを街づくり協議会で考えたい。天理大学の体育学部と連携し健康遊具、歩行測定遊具、南団体待合所に健康教室なども開き、活動拠点としたい。(市長)

クラブ、サークルで一生懸命活動しておられるが、場所が有料の場合の減免措置はどのようになっているか。

A 市民会館と文化センターの使用料は通常はいただいている。県外の事例では、高齢者福祉の点で、減免適用の自治体もある。高齢化が進む中で、健康増進、安心して活動できる場の確保が重要であるので、他県の例も参考に、減免についても検討していきたい。(市長)



寺井 正則 議員
(一問一答)

市民の健康を守る施策について

Q 胃がんの原因の95%以上がピロリ菌の感染によるもので、胃がん予防には除菌が必要です。40歳以上の特定検診の項目にピロリ菌血液検査を追加することや、中学3年生を対象に毎年ピロリ菌検査を実施することについて、市長の所見は。

A 天理地区医師会との「検診検討委員会」に再度提案を行い検討していきます。中学生を対象としたピロリ菌検診については、他県の実施事例を参考に、研究していきます。(市長)

Q 特定健診の受診状況についてお尋ねします。また、受診率向上のために先進事例として取り組まれている「コンビ二健診の実施」についての所見をお尋ねします。

A 平成27年度の国民健康保険被保険者の特定健診受診者は、対象者10、766人中、受診者2、630人(受診率24%)の受診状況となっています。コンビ二健診を実施している自治体の事例を調査し、本市においても実施が可能か、今後、研究していきます。(健康福祉部長)

認知症対策について

Q 認知症などの病気を有するドライバーの交通事故の防止のために、相談体制の確立や啓発活動、担当部局の連携が必要ですが、市長の所見をお尋ねします。

A 本市では、メディアカルセンター2階の「まちかど相談室」及び市役所介護福祉課に認知症地域支援推進員を配置し、認知症の相談に対応しています。また、「認知症サポーター養成講座」や「活脳教室」を開催し、認知症予防及び軽度認知障害の改善に努めています。より一層認知症についての啓発を行うとともに、認知症予防の事業に取り組み、認知症の早期発見、早期対応に努めます。また、奈良県警が作成した高齢者運転免許支援制度にかかるチラシの配布に協力する等、免許の自主返納に関し警察と連携し、ご指摘の高齢者ドライバーによる事故が起らない環境整備にも努めたいと考えています。(市長)

インターネットリテラシー教育について

Q SNS(インターネットを通じた交流方法の総称)の利用に当たっては、情報マナーなどルールの徹底が必要です。児童・生徒・保護者に対してどのような周知・啓発を行っているのか。

A 小中学校で、「スマホ・ケータイ」出前啓発講習会や、「スマホ教室」の開催、また、フィルタリングや利用のルール作りなど、子どもたちを守るための保護者を対象とした講習会も各校で開催しています。今後も児童・生徒・保護者に情報マナーなどルールの周知・啓発を行っていきます。(教育長)

Q 情報化社会の進展により、ネットリテラシー(情報ネットワークを正しく利用することができる能力)の格差が生ずるようになってきています。市民全体のリテラシーの向上にどの様に取り組んでいかれるのか。

A 子供から高齢者までインターネットのメリットを享受して豊かに生活を送ることができるようにリテラシーの向上のため努力していきたいと考えています。(市長)



こんなことが決まりました

全員賛成で可決した議案

- 報告** ・損害賠償の専決処分の報告について
- 議案** ・28年度補正予算(4会計)・条例改正(5条例)・条例制定(2条例)・その他議案(7議案)

計18議案

- 決議案** ・安心な社会保障と強い地域経済を構築するための地方財政措置を求める意見書について

意見が分かれた議案

- 決議案** ・第5号 地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書

| 会派 | 創生 | | | 未来 | | | 清風 | | | | | 会 | | 無党派 | | 結果 | | |
|--------|------|-----|------|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|----|
| 議員 | 鳥山淳一 | 仲西敏 | 今西康世 | 加藤嘉久次 | 岡部哲雄 | 榎堀秀樹 | 飯田和男 | 堀田佳照 | 廣井洋司 | 三橋保長 | 市本貴志 | 東田匡弘 | 内田智之 | 大橋基之 | 中西一喜 | 寺井正則 | 荻原文明 | 結果 |
| 決議案第5号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議長 | ○ | ○ | × | 可決 |

賛成…○・反対…×

※議長は表決に加わりません

反対討論 荻原議員：厚生年金加入による自治体負担に批判の声もあり、公費負担の無い地方議員年金制度を検討するべきです。

意見書

地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書

地方創生が、我が国の将来にとって重要な政治課題となり、その実現に向け大きな責任を有する地方議会の果たすべき役割は、ますます重要となっている。

このような状況の中、地方議会議員は、これまで以上に地方行政の広範かつ専門的な諸課題について住民の意向をくみとり、的確に執行機関の監視や政策提言等を行うことが求められている。

また、地方議会議員は、議会活動のほか地域における住民ニーズの把握等様々な議員活動を行っており、近年においては、都市部を中心に専門化が進んでいる状況にある。

一方で、統一地方選挙の結果をみると、投票率が低下傾向にあるとともに無投票当選者の割合が高くなるなど、住民の関心の低さや地方議会議員のなり手不足が深刻な問題となっている。

よって、国民の幅広い層からの政治参加や地方議会における人材確保の観点から、地方議会議員の厚生年金加入のための法整備を早急に実現するよう強く要望する。

安心な社会保障と強い地域経済を構築するための地方財政措置を求める意見書

国は、日本が世界に誇る社会保障の充実・安定化とそのための安定財源の確保、及び財政健全化の同時達成を目指し、社会保障と税の一体改革を進めて来ました。しかしながら今般、世界経済が直面するリスクを関係諸国が一体となって回避するために、医療や介護などを支える消費税率の10%への引き上げが、平成31年10月まで再延期されることになりました。

他方で、2012年には約1500万人だった75歳以上の高齢者数は、2015年には約1700万人、そして2025年には約2200万人と推計されており、このように急激に進行する高齢化への対策は確実に進めることが必要です。また、日本は、本格的な人口減少の時代に突入し、2015年の人口減少幅が約27万人と過去最大となりました。まさに、高齢化対策も少子化対策も待たなしであります。

さらに、これらの施策を支える安定財源を確保するための日本経済の底上げも正念場であり、GDPと雇用の約7割を占める“地域経済圏”の活性化が求められています。今こそ、地域資源や地域の特色に着目した、農林水産業の6次産業化や、魅力ある観光産業の開発など、産・学・金・官の連携による地域産業の創造と、地方への移住促進や小さな拠点、生涯活躍のまちづくりなど、将来にわたって活気ある地域づくりを本格的に推進すべき時であると考えます。

そこで国においては、すべての国民が等しく住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるように、安心な社会保障と強い地域経済を構築するための地方財政措置を適切に講じられることを強く求め、以下の事項について要望を致します。

記

一、消費税率の引き上げ延期による地方における社会保障の充実施策の実施に、支障が生じることのないよう、所要の財源を確保すること。特に、要望の強い保育の受け皿整備に係る財源については、地方負担分も含めて国の責任において適切に財源措置を講じること。

一、人材確保が喫緊の課題になっている保育士・介護職員などの処遇改善など「一億総活躍プラン」関連施策の実施についても、地方負担分も含めて国の責任において適切に財源措置を講じること。

一、人口減少社会への対応という中長期的な課題に取り組む地方自治体をサポートし、地域の実情に応じて自主性・主体性を発揮し、地方創生を推進することが出来るよう、1兆円の「まち・ひと・しごと創生事業費」を中期的に継続すること。また、地方創生推進交付金についても、安定的かつ継続的に所要の財源を確保すること。

一、地方自治体が提供する社会保障の充実策をはじめ、福祉、学校教育、消防、道路や河川等の社会基盤の整備など、国民生活に密接に関連する多くの行政サービスを確実に実施するためには、地方一般財源の確保が不可欠であり、特に地方交付税総額については確実に確保すること。



こんな議論を行っています

議会改革推進委員会

平成28年6月14日 議会改革推進委員会を設置しました。

| | | | | | |
|-----|-------|------|-------|----|-------|
| 委員長 | 榎堀 秀樹 | 副委員長 | 堀田 佳照 | 委員 | 市本 貴志 |
| 委員 | 東田 匡弘 | 委員 | 飯田 和男 | 委員 | 寺井 正則 |
| 委員 | 大橋 基之 | 委員 | 中西 一喜 | 委員 | 鳥山 淳一 |

議会改革推進委員会では、昨年度に続き、(1)「議会報告会について」(2)「政務活動費について」(3)「議員定数について」(4)「議員報酬について」を議論の4本柱とし、現在までに3回の委員会を開催しました。

<委員会の開催経過>

第1回委員会 平成28年7月4日/第2回委員会 平成28年11月1日/第3回委員会 平成28年11月18日

<現在までの主な協議内容等>

委員会では、まず(1)「議会報告会について」と(2)「政務活動費について」審査することとしました。

(1) 議会報告会について

議会報告会の実施方法について、今年度、年1回1カ所で開催することに決定しました。

当初は9小学校区で実施し、昨年と一昨年は4中学校区で実施していましたが、報告会のあり方を検討する中、新たな試みとして年1回開催とすることとしました。

当日の運営については、企画運営委員会に一任としました。

(2) 政務活動費について

天理市議会は、議員の調査研究及び活動基盤の強化を図るために平成13年3月29日、政務調査費を交付する条例を制定しました。

政務活動費の透明性を高め、説明責任を果たし、且つ成果を市政の発展に寄与させるために、常に議論を行い支出範囲等の運用基準等の見直しを行ってきました。

- 平成29年度政務活動費について、判例や現在の運用を検証し「政務活動費使途運用事項」の旅費に関する基準、調査研究費、要請・陳情活動費、資料作成費、資料購入費の一部を改正するよう協議を行いました。

新基準については、平成29年4月1日より適用し、市議会ホームページにも掲載する予定です。

平成29年第1回天理市議会定例会 本会議・委員会日程

3月

- 3月1日(水)
 - 9時30分 議会運営委員会
 - 11時00分 本会議開会
- 3月3日(金)
 - 9時30分 議会運営委員会
 - 11時00分 本会議再開
- 3月6日(月) 9時30分 文教厚生委員会
- 3月7日(火) 9時30分 経済産業委員会
- 3月8日(水) 9時30分 総務財政委員会
- 3月9日(木) 9時30分 予算審査特別委員会
- 3月10日(金) 9時30分 予算審査特別委員会
- 3月13日(月)
 - 9時00分 議会運営委員会
 - 10時00分 本会議再開 ※一般質問
- 3月14日(火)
 - 10時00分 本会議再開 ※一般質問
- 3月16日(木)
 - 9時30分 議会運営委員会
 - 11時00分 本会議再開

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|----|
| | | | 1 | 2 | 3 | 4 |
| | | | 本会議 11:00 | | 本会議 11:00 | |
| 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |
| | 文教 9:30 | 経済 9:30 | 総務 9:30 | 予算 9:30 | 予算 9:30 | |
| 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 |
| | 本会議 10:00 | 本会議 10:00 | | 本会議 11:00 | (会期) | |
| 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 |
| | | | | | | |
| 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | |
| | | | | | | |

※会 期= 3月17日(金)までの17日間

編集後記

議会定例会において議員は一般質問を行います。本紙には答弁も含めその要約を掲載しています。広報編集委員会では、質疑の核心部分や質問の趣旨を市民にわかりやすくお伝えするため、適正な編集に努めています。

本会議の様子は、市議会のホームページで録画中継をご覧いただけますし、内容は会議録として公開しています。また、本会議と委員会は傍聴ができますので、是非お越しください。

市民に開かれた議会として、議会活動をわかりやすく情報発信できるように、広報編集委員会においても毎回議論を重ねております。今後も、さらに努力してまいりますので、どうぞよろしくお願いたします。

(仲西 敏)

議会広報編集委員会

- | | | | |
|------|-------|----|------|
| 委員長 | 飯田和男 | 委員 | 廣井洋司 |
| 副委員長 | 堀田佳照 | 委員 | 東田匡弘 |
| 委員 | 加藤嘉久次 | 委員 | 仲西敏 |